

事後評価シート

コード 7-3-2	事務事業名 児童館母親クラブ育成事業	所管部課 児童青少年部児童課
--------------	-----------------------	-------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 児童館機能の一つには母親クラブ等地域組織の活動支援が掲げられており、市では母親の連帯組織など児童健全育成に寄与する自主的な団体(1団体概ね30人以上)へ事業運営費の一部補助を行うことにより、地域における児童福祉の向上を図ることを目的として補助を実施している。		事業の区分 <input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事務事業	
	実施内容、実施方法 児童館やその他の公共施設等と有機的に連携し、親子及び世代間の交流・文化活動や児童養育に関する研修活動、児童の事故防止等活動、その他児童福祉の向上に寄与する活動を行う団体に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。		根拠法令等 西東京市立児童館母親クラブ活動助成事業補助金交付要綱	
	事業開始時期	合併前から	実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

評価指標の設定	活動指標名 補助の件数	活動指標の考え方(定義) 補助団体数
	成果指標名 1次 活動件数	成果指標の考え方(定義) 1次 団体の活動件数
	1次	1次
	2次 類似活動団体の数	2次 類似的な活動を行っている団体の数

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)	千円	0	300	300	285
	国庫支出金					
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		300	300	285	
	所要人員(B)	人		0.02	0.02	0.02
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	167	164	164
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	467	464	449
	単位当たりコスト (E)=(D)/ ( 補助金の総額 )	千円	#DIV/0!	156	155	#DIV/0!
歳入	千円					
活動指標	目標値	件数			3	2
	実績値	件数		3	3	
活動指標	目標値					
	実績値					
1次成果指標	目標値	件数			27	27
	実績値	件数		25	27	
1次成果指標	目標値					
	実績値					
2次成果指標	目標値	団体数				
	実績値	団体数				

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	団体参加者の高齢化が進みつつあり、団体の構成者数が減少してきている。
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	多摩26市のうち同補助制度を設けている自治体は、6市となっている。
	運営上の制約条件・外部要因等	特になし

コード 7-3-2	事務事業名 児童館母親クラブ育成事業	所管部課 児童青少年部児童課
--------------	-----------------------	-------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切さ・目標	目的の妥当性 4 上位施策と目的が合致しており、施策に対する貢献度は他の事業と同程度である	4	世帯の核家族化が進行する中子育てに不安を抱える親が多い経験豊富な地域人材の活用は児童福祉の向上に必要である。
	目標の妥当性 3 市が独自に目標を定量的に設定している	3	
	緊急性 4 今後しばらくの間、少しずつでも継続して実施する必要がある	4	
2 市が必要とする必要性	法的義務性 4 法律で任意での実施が規定されている	4	事業の目的から、地域資源の活用と醸成及び人材の育成により福祉の向上を図るため。
	必要性 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	2	
	民間との役割分担 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみである	4	
3 内容の適切さ	ニーズ 3 市民(市内)ニーズが明確に把握できており、ニーズに見合ったサービスである	3	主に当該児童館区域を活動地域としているため地域特性に見合った活動が展開されている。
	規模・方法の妥当性 1 事業規模や方法は過去を踏襲しており、特に見直していない	1	
	公平性 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民または団体である	2	
4 実施手段の適切さ	有効性 4 現在、質・水準の改善に取り組んでおり、成果の向上が期待できる	4	補助要綱に規定する活動を実施することを基本としているが、更なる活動の充実と補助の効果を期待している。
	効率性 1 具体的な計画や目標等に基づいたコスト低減には特に取り組んでいない	1	
	独自性 2 市内に同種の目的を有する(類似・重複を含む)他の事務事業がある	2	
合計		34	

総合評価	評価結果	判断理由、説明等
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	補助団体への参加者不足はあるが、団体が行う親子及び世代間の交流・文化活動、児童養育・育成に関する諸活動は、地域における子育て奮闘中の親などへの相談・支援等児童健全育成に寄与しているものであり、地域資源の有効活用により児童福祉の向上を図るうえで本事業は必要と判断する。なお、本事業は子育て支援計画において継続実施事業に位置づけられているものである。

18年度における改善点	活動成果の向上(活動数等)を図る。
-------------	-------------------

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	対象団体が2団体と非常に少なく、活動内容も市内の事業と類似しているものも多い。それらを踏まえると、将来的には母親クラブの廃止も検討し、その活躍の場を公民館等の公の場に移行することも可能ではないかと思われる。また、補助方法についても、現在の定額式から活動実績に応じた補助方法に変更すべきである。
------	---	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	対象団体が少なく、活動内容が市内の事業と類似していることから、将来的には事業を廃止し、他の類似事業と整理・調整のうえ再構築する必要がある。また、当面は再構築に向け、補助内容を精査し、他の類似事業や関係団体との調整を図られたい。
--------	---	---